



Trendeer_H1(MT4)の概要（バックテスト結果に基づく紹介）

【設定概要】

- ①通貨：複数
- ②ロット：変動
- ③バックテスト期間：2012/1/3～2025/1/1
- ④モデリング品質：99.9%

【取引概要】

- ①総取引回数：3,206回
 - ➡約13年で年240～260回前後のペース。最大同時保有ポジションは3（ロング3／ショート3）で複数建てを行う設計。
取引回数の多さは、この同時建て仕様によるところが大きい。
- ②平均獲得PIPS：7.96PIPS
 - ➡勝ち平均 +52.84pips、負け平均 -41.48pips。リスクリワードは約1.27（＝勝ち1に対して負け0.78）で、勝率との組み合わせで成績を積み上げるタイプ。
- ③損益分岐率：43.8%
 - ➡勝率52.4%に対し、損益分岐率との差は+8.6pt。PF1.41と合わせ、スプレッド・約定条件の変化にある程度の余地がある水準。

【特徴】

- ◆デイトレ～短期スイング寄り（平均保有8時間30分・中央値9時間0分）。
- ◆SQN 7.56 と一般的な優位性の目安も高め。
- ◆バックテスト上の最大相対DDは-20%（金額ベース-222,704円／初期証拠金100万円・0.1Lot時）。
DD回復は平均81日、最長236日と、回復に時間を要する場面も確認できる。

【留意すべき点・リスク】

- ◆複数ポジションを同時に保有するため、相関が高い通貨が同方向に動いた局面ではDDが拡大しやすい。
- ◆勝率は5割強だが、利益の大半はリスクリワードに依存する設計のため、スプレッド拡大・約定悪化・ロット増加時の滑りなど環境差の影響を受けやすい。
- ◆指標発表などイベント集中時の同時DDに注意。資金管理は余裕を前提に。

【補足】

本資料はバックテスト結果に基づいて特徴を整理したものであり、将来の成果を保証するものではありません。
実際の取引環境（スプレッド、約定速度、口座条件など）によって結果が異なる可能性があります。